



コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。



発表後、会場からの質問に答える筆者

9月5日、6日に島根県の出雲市民会館で老健大会が開催され、参加者は577名でした。大会初日にパネルディスカッションがあり、当施設からはリハビリ職種を代表として、発表とデイスカッションに参加しました。テーマは「老健に求められるもの」と題し、中国5県から医師（山口県）・介護支援専門員（広島県）・リハビリ職種（岡山県・社会福祉士（鳥取県）・行政（島根県）の5名がパネリストでした。発表内容は、我々が実践しているリハビリの目標指向型アプローチを紹介しました。機能回復だけでなく、生活機能全般の回復や参加の向上が重要であり、そのためにはワクワクするゴールを利用者・

目標指向型アプローチとワクワクするゴールで自宅を目指す

中国地区介護老人保健施設大会で講演

家族と決定し、多職種で目標を共有することが重要となります。複雑な課題でも職種を越えて伝わる言葉に置き換え、1つ1つ問題を解決するノウハウは会場の参加者も興味を持たれたようです。デイスカッションでは「職員育成へ活用方法は？」「やる気スイッチはどう入れるか？」など、複数の質問も寄せられ、長年実践してきた内容に多くの方に関心を持って頂ける良い機会となりました。

コープリハビリテーション病院 老健あかね
理学療法士 佐藤 雅昭

箱モノより人という資産づくり 倉敷圏域の病院長会にて報告

院長 鍛本真一郎

【はじめに】
倉敷圏域35病院の院長や医師会、保健所等からの来賓合わせて50名以上が毎年2月と9月に集います。今回で16回目です。この会の目的は病院どうしが役割分担して地域で暮らす人の健康を守ることです。一つの病院が一つの機能で全て賄うのは不可能だからです。今回、当院は急性期の患者様をリハビリで回復させ生活期に戻す役割を紹介しました。

【人という無形資産】
当院は老健あかねと共に2017年2月に今の場所に新築移転しました。もうじき丸3年です。「建もの丸ごとリハビリ」は私たちのモットーですが、その心は新しい建物だけではありません。建物で働く職員の皆さんがリハビリアプローチを駆使して地域の健康を守っている姿そのものです。

【コープは無形文化遺産】
ところで病院名がお示しするよう「コープすなわち「協同組合」という事業形態はユネスコの「無形文化遺産」に登録されました。認証理由は「共通の利益の実現のために協同組合を組織するという思想と実践」を「無形文化遺産」として登録（2016年11月30日）



当日用いたスライド



会場風景 演台に立つのが筆者 (9/25)



リハビリ職種の立場として発表

市立第五福田小学校5年生36名の児童が今年も利用者との交流会に来所してくださり、手作りの塗り絵やクイズ、すごろく、ボーリング、折り紙、輪投げ、紙芝居などを一緒に楽しみました。手作りの塗り絵には、ドラえもんやプーさんの絵が描いてありました。キャラクターを知らない利用者は「何色に塗ったらいいの？」と児童に尋ねる微笑ましい場面もありました。すごろくはカラフルな盤に大きなサイコロが用意されておりスムーズにゴールができるように工夫されていました。最初は緊張していた児童と利用者の距離感がゲームの盛り上がりにつれてだんだん近くなり、うまく出来ない人の手助けをしてくれました。最後は、利用者自ら作った物を



五福小学校児童による紙芝居 (9/19)

五福小学校交流会

児童に「楽しかったよ。ありがとう」と言ってプレゼントされていました。曾孫世代の子どもたちとの交流を通して、いつもとは違う利用者の方々の笑顔を見る事が出来ました。ぜひ、また老健あかねに遊びに来てくださいいね、心待ちにしています。
老健あかね
介護福祉士 片岡真菜美

入院や入所に際して、部屋代はいただいていません。

せん妄ケアの重要性 整形外科急性期から 当院回りハを経た転帰



会を主催した倉中整形外科の村木師長さん

10月11日に倉敷中央病院で開催された第13回大腿骨頸部地域連携パス情報交換会で発表させていただきました。

した。テーマは表題の通りです。せん妄とは外科手術後や集中治療室で起こりやすい不穏な意識障害のことです。長引くとその後の自立が阻まれてしまいます。発表は、倉敷中央病院の整形外科からご紹介のあった患者さんを対象に、コープリハへ転院前後のせん妄の有無とその他の精神・行動の障害（認知症・精神病・知的障害）の有無で分類し、当院で実施しているプロセスアプローチについて発表し



質問に答える筆者

ました。質疑応答では沢山の質問があり興味を持って頂けたように感じます。事例研究は沢山の時間と頭を使いとても大変です。しかし、自分たちがしている看護を振り返り、さらに次の看護へ活かすの意義は大きく、また当院での取り組みを外部に発信することで当院の特徴や良さに気づく事も多いです。会の終りに「ぜひ患者さんを紹介したい」と言っていたいただき安心しました。これからも看護師と



発表後のグループ討論会

して探求する気持ちを忘れずにいきたいと思えます。コープリハビリテーション病院 回りハ病棟 看護師 水島 智重

きずなの会

「介護を語り合う会」を開催

2019年8月に毎年恒例のきずなの会「介護を語り合う会」を開催しました。パーキンソン病の夫の介護をされている方からは、病気のため良い時と悪い時の差が激しく、転倒を繰り返す為、目が離せないこと、幻覚があり、夜も家中の電気をつけるため、家族は眠れず、いつまでこんな状況が続くのか、先行きのみえられない介護について、話しをされました。他の参加者からは、認知症進行により、

娘のことも分からなくなつた母の介護について、介護保険がなかった時代の介護について、それぞれの体験を出し合い、介護の大変さを共感し、意見交換を行いました。暑い日が続いていました。暑い日が続いているため、熱中症のこと、介護していく上で自宅での体調管理の難しさについても意見が出されました。介護を終えた方から、長い介護をしていても、それが本人のために必ず報われるから、今を継続していくことが大

切という意見があり、実際介護をされている方は励まされていきました。「介護を語り合う会」は、介護者同士の思いを語り合い、実際介護をしている方、介護を終えた方がお互いの体験を話し合い共感し合える時間です。これからも、介護者同士の思いを心置きなく語れる場所として続けていきたいと思えます。

老健あかね 支援相談員 大野 珠美



介護を語り合う会の様子

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。

お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-444-3212 (代表)
受付時間 平日 9:00~16:30
土曜日 9:00~12:00
(日祝・年末年始を除く)

〒712-8057
倉敷市水島東千鳥町 1-60
ホームページ: <http://coopreha.jp/>
メールアドレス: info@coopreha.jp
広報委員会
発行責任者 笹舘 勝人

診療表					老健あかね [086-446-6541]	
コープリハビリテーション病院 外来受付時間 8:30~12:00 [086-444-3212]					訪問リハビリ	通所リハビリ
外来	装具 外来	歯科	短時間 通所 リハビリ	短期集中 健幸アップ 教室		
午前 9:00~ 12:30	14:30~ 15:00	午後	9:00~ 16:50	9:30~ 11:00	○	○
月			○		○	○
火	渡辺 (予約制)	(予約制)	○		○	○
水	川村		○		○	○
木	太田	(予約制)	○		○	○
金	飯塚		○		○	○
土				○	○	○

医療福祉相談・連携室		
相談 受付時間	平日	9:00~12:00 13:30~16:30
	土曜日	9:00~12:00
	日・祝日	休み

新入職員紹介



コープリハビリテーション病院
事務課
大西 信吉



コープリハビリテーション病院
事務課
井下 真美



コープリハビリテーション病院
5階病棟 介護士
坂本 優



老健あかね
介護福祉士
山本 真矢



コープリハビリテーション病院
事務課
河本 健弘

無料低額診療事業・無料低額介護老人保健施設利用事業を行っています。